

# 令和8年度 事業計画（案）

## 1. 基本方針

当協会は設立5年目を迎え、本年度はこれまでの基盤整備の段階から、具体的な事業を創出し、成果を形にする重要な転換期と位置づけております。

令和7年度、事務局におきましては「北海道大学デスティネーション・マネージャー育成プログラム」を履修し、専門的な知見を深めて参りました。会員の皆様より、事務局体制の一新と新たな協会像への期待を寄せていただいていることを真摯に受け止め、本年度はその学びを実務へと還元いたします。

具体的には、「観光ビジネス」「観光地域」「観光組織」の3領域におけるマネジメント能力を組織運営に直結させ、より戦略的な事業遂行を可能とする人員体制の構築を進めて参ります。

本年度は、以下の重点項目を中心に、データの裏付けに基づいた持続可能な観光施策を推進いたします。

観光コンテンツの再構築と提供 沙流川流域の豊かな文化資源や自然環境を一つの物語（ストーリー）として再定義します。短時間滞在から長期滞在まで、多様な旅行スタイルに対応した「高付加価値な観光プログラム」を試行し、質の高い体験を提供できるように進めて行きます。

マーケティング機能の拡充、各種観光データの収集・分析を徹底し、効果的なプロモーションやコンテンツ造成を支援できるよう、当協会のマーケティング機能を強化いたします。

町が推進する「びらとりエコミュージアム構想」に積極的に参画し、運営面での関与のあり方を模索することで、町全体のビジョンと歩調を合わせた観光振興を図ります。

物販を通じた誘客と成果の可視化、町外での物販事業を単なる販売に留めず、実地への誘客へと繋げる仕組みを構築します。これらの活動成果を「数値」として見える化し、協会の活動が地域経済に寄与していることを会員の皆様へ明確にお示しいたします。

以上の基本認識に基づき、北海道、平取町、観光関係団体および民間企業の皆様と緊密に連携し、地域の発展に貢献する以下の事業を展開して参ります。

## 2. 重 点 事 業

### (1) 観光客誘致事業

- i. 町外イベントにて特産品等の PR 及び販売、町内への誘致アクション

### (2) 観光体験プログラム造成

- i. アイヌ文化を核とした高付加価値体験プログラムの造成・試行

### (3) 観光ワンストップ窓口機能

- i 観光関連の問い合わせ、手配の窓口としての機能強化

### (4) ローカルガイド育成

- i. 高付加価値体験プログラム対応ガイドの育成

### (5) 観光客動向調査

- i. インバウンド入込数調査、観光ポイントにおける消費単価調査

### (6) EC サイトの運用

- i. 新商品及び既存の商品の販売ツールとして EC サイトの運用

### (7) 観光宣伝と観光客の誘致促進

- i. パンフレット・ポスター等の作成・頒布ならびに内容等の見直し

- ii. SNS 広告を使ったデジタル発信

- iii. Web ページによる情報発信情報受発信事業

(HP 運営、SNS による地域イベント情報や地域団体の情報発信)

- iv. 旅行雑誌などを活用した観光情報の発信

### (8) 観光土産品と観光特産品等の紹介、宣伝及び提供

- i. びらとり高校トマトクラブとの新商品開発、販売拡充、町外物産展での販売チャネル拡充

### (9) 隣接他町との観光連携事業

- i. 日高町、むかわ町など近隣市町村との観光広域交流事業の推進

### (10) 平取町や地域団体の地域振興事業の受託

- i. アイヌ政策推進交付金事業・町観光 PR 事業 等

### (11) 観光客誘致事業

- i. 町外イベントにて特産品等の PR 及び販売、町内への誘致アクション

### 3. 地域振興事業

- (1) 地域貢献事業（新入学児童への記念品贈呈）
- (2) 平取町の観光資源を活用した商品開発・研究・販売
- (3) 公式キャラクタービラッキー活用事業（グッズ開発等）

### 4. 新たな平取町の魅力創造と情報発信の充実

#### (1) 体験型観光の展開

アイヌ文化を核とした高付加価値の「ストーリー性のあるツーリズム」として半日程度のガイド付きプログラムの試行、将来的には宿泊を伴う滞在型体験プログラムへ発展させていき、これまでの通過型観光を取り入れながら滞留型観光へ着手させることで交流人口の増加と地域の活性化を図ります。

家族で楽しめるエンターテインメントの舞台を二風谷として、アイヌ文化に触れる機会の創出するために「ゴールデンカムイ」などの人気コンテンツを活用しながら、回遊イベントの開催も行います。

#### (2) 広告宣伝事業

アナログ媒体の新聞や各種の情報誌等の媒体も活用するが、マーケティング分析をしっかりと SNS 広告の割合を増やしデジタル媒体での広告によるターゲットを絞った的確な方法も積極的に取り入れます。

平取町特有の観光資源の洗い出し、視覚的魅力を訴求するためにも、北海道観光機構等による事業への協賛及び独自広告宣伝物の作成を推進します。

#### (3) 観光客誘客活動

道内外者への町内誘客事業として、ホームページではこれまでのアクセス状況などをふまえた人気のコンテンツの磨き上げと SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）による積極的な情報発信を強化します。

各種パブリシティ等を効果的に利用するとともに、SNS による情報発信

を強化は基より、開設した EC サイトの運用により目に触れる機会を増やしアクセス数やフォロワー数の増加を図ります。

また、都市圏での各種イベントに積極的に参加することによる地場産品（トマト、和牛などの食の特産品を基軸とし、アイヌ文化やすすらんなどの地場観光資源）等の PR にも力を入れ誘客を図ります。

## 5. 周辺地域との連携促進

北海道や日高管内等の観光関連団体、事業者との連携を深め、情報共有による観光資源の有効活用を模索し、誘客強化に取り組むと共に、特に日高町・むかわ町とは観光広域交流として事業展開を図り、一体的な周遊観光を目指すべく、積極的に実施してまいります。

また、日高 7 町の観光事業者の有志による「日高観光ネットワーク」などの活動や広域関係町のみならずその他周辺市町村及び観光協会等と連携を図り、積極的な事業展開を図ります。

## 6. 観光協会の組織強化

### (1) 体制の強化

人員不足を解消するために地域おこし協力隊制度の活用、新規事業を円滑に進めるために担当部門を再構成するなどの見直しを進めます。

### (2) 観光ワンストップ窓口機能

観光関連の問い合わせ、手配の窓口としての機能強化をはかり地域事業者の信頼を得て手数料収入へつなげます。

### (3) ローカルガイド育成

高付加価値体験プログラムに活用できるガイドの育成を進めます。

### (4) 収入確保について

収益事業の柱である自社製品については販売手法の改善をはかり売上の増加に注力すると共に、新たな商品開発を実施し、収益事業のみならず特産品 PR 事業を展開していきます。

また、各委託業務を受託することにより、観光 PR を実施すると共に自主財源の確保を図り、会員事業所及び町内施設への誘客へ繋がる有効的な事業を実施します。

## 7. まつり・イベント事業への協力

町内外から多くの人を集まる「まつり・イベント」は情報発信の貴重な機会であることから、例年通り各まつり・イベントへ協力し、ホームページや SNS 等で観光情報の提供を図ると共に、各施設へ誘導するための施策を推進します。